

研究集会 「宗谷暖流を始めとした対馬暖流系の変動メカニズム」

2013年7月4日(木) 13:00~17:40

7月5日(金) 9:30~13:00

北海道大学 低温科学研究所 講堂(研究棟新館3階)

(低温研までのアクセスは <http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/access.html> 参照)

【プログラム】

7月4日(木) 13:00~17:40

13:00-13:10 開会挨拶 古川 義純(北大低温研 所長)
13:10-13:20 趣旨説明とアナウンス 広瀬 直毅(九大応力研)・江淵 直人(北大低温研)

● 基調講演

座長 江淵 直人

13:20-13:50 松山 優治(東京海洋大)
夏季の宗谷暖流の構造

● セッション1 宗谷海峡・津軽海峡・日本海

座長 千手 智晴

13:50-14:10 ○張 偉, 深町 康, 江淵 直人(北大低温研)
Estimation of wind drift current in the Soya Strait

14:10-14:30 中多 章文(道稚内水試)
宗谷西方日本海の海洋構造について

14:30-14:50 大水 理晴(青森県農林水産部), ○乙部 弘隆(東海大海洋)
青森県沿岸域における水温と水産資源の長期変動

14:50-15:10 休憩

15:10-15:30 ○福留 研一(水研セ日水研), 千手 智晴(九大応力研), 大慶 則之(石川水総セ), 中田 聡史(京大),
広瀬 直毅(九大応力研), 井桁 庸介, 渡邊 達郎(水研セ日水研)
能登半島西部陸棚上における流れの季節変動特性

15:30-15:50 ○伊藤 雅(名大院環境), 森本 昭彦(名大水循環セ), 磯田 豊(北大院水産), 滝川 哲太郎(水大校)
対馬暖流第三分枝の流路の経年変動について

15:50-16:10 広瀬 直毅(九大応力研)
モデル高分解能化による対馬暖流域の渦再現性向上

● セッション2 対馬海峡

座長 森本 昭彦

16:10-16:30 ○滝川 哲太郎, 鎌野 忠, 江野島 岳友, 下岡 尚輔, 小勝 正貴, 伊藤 貴史, 田中 辰彦(水大校)
対馬海峡西水道における連続XBT観測

16:30-16:50 ○市川 香, 吉川 裕, 福留 研一, 森本 昭彦, 尹 宗煥(九大応力研)
GPSを用いた対馬海峡の海面力学高度観測(III) 非地衡流成分の評価

16:50-17:10 吉川 裕(京大理)
海面加熱時の混合層深度に関する考察

17:10-17:40 総合討論1

19:00~ 懇親会

7月5日(金) 9:30~13:00

● セッション3 東シナ海

座長 市川 香

9:30-9:50 岩清水 堂徳 (名大院環境), ○森本 昭彦 (名大水循環セ), 王 玉成, 郭 新宇 (愛媛大沿岸環境セ),
滝川 哲太郎 (水大校), 伊藤 雅 (名大院環境)

黄海・東シナ海の海面高度計データ高精度化のための潮汐同化モデル開発

9:50-10:10 ○遠藤 貴洋 (九大応力研), 吉川 裕 (京大院理), 松野 健 (九大応力研), 和方 吉信 (九大応力研)
外洋域で観測された潮汐歪みによる成層・乱流強度の周期的な変動

● 特別セッション 塩分と対馬暖流系

座長 広瀬 直毅

10:10-10:30 ○松野 健, 千手 智晴 (九大応力研), Sang-Hyun Kim (済州大), 福留 研一 (日水研)
対馬海峡周辺海域における長江起源水の挙動

10:30-10:50 ○千手 智晴 (九大応力研), 奥野 充一, 大慶 則之, 辻 俊宏 (石川県水産総合センター)
2009年夏季の日本海表層低塩分水の挙動と大型クラゲ出現の関係

10:50-11:10 休憩

11:10-11:30 ○上原 裕樹 (北大低温研), A. A. Kruts (FERHRI), 三寺 史夫, 中村 知裕 (北大低温研),
小埜 恒夫 (中央水研), Y. N. Volkov (FERHRI)

オホーツク海・東樺太海流域の塩分変動 — ロシア歴史データによる概観

11:30-11:50 ○三寺 史夫 (北大低温研), 藤崎 歩美 (U. Michigan), Jia Wang (NOAA/GLERL),
若土 正暁 (北大低温研)

アムール川からの流出水はなぜ広がるのか?

11:50-12:10 ○江淵 直人, 阿部 泰人 (北大低温研)
人工衛星による海面塩分観測の現状

12:10-13:00 総合討論2